

●令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業の実施による効果について(繰越事業)

交付対象事業の名称	所管課	事業の概要 ①目的 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象者、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	令和2年度実績額			効果
					総事業費 (円)	コロナ交付 金充当額 (円)	一般財源 (円)	
勤怠管理システム導入事業	人事課	①書類の電子化により人的接触機会を減少させるため、勤怠管理や休暇・手当申請の電子化を行う庶務事務システムを導入する。 ②勤怠管理システム構築費用 ③勤怠管理システム構築委託料 26,640,000円×1.1=29,304,000円 ④市職員	R3.1	R3.3	29,304,000	29,304,000	0	人事課等への提出書類の多くを紙から電子へ変更できたことで、提出の際の人的接触機会を減らすことができた。
市立保健センタートイレ改修 業務事業	健康課	①トイレの洋式化、手洗い等の非接触化を行い、衛生環境の向上を図るため、改修工事を行う。 ②③ 市立保健センタートイレ改修業務修繕料 7,956,960円 うちR3年度への繰越額2,476,760円 ④市立保健センター	R2.10	R3.4	2,476,760	400	2,476,360	トイレの洋式化及び手洗い等の非接触化により衛生環境が向上し、市立保健センターにおける新型コロナウイルス感染拡大のリスクを低減することができた。
図書消毒機購入事業	図書館	①感染防止のために、本の消毒を行う図書消毒機を導入する。 ②③ 図書消毒機793,000円×2台分×1.1=1,744,600円 ④利用者	R2.10	R3.6	1,744,600	1,744,600	0	令和4年8月末現在において、図書館に設置した図書消毒器は5,281回、生涯学習センターに設置した図書消毒器は、2,003回使用されている。本事業は、利用者の快適な図書館利用に大きく貢献しており、新型コロナウイルスの感染拡大の防止にもつながっているものと考えられる。